



東神楽町共同学校連携

事務室だより

NO.8

家庭版

発行:21/3/24

東神楽町共同学校
連携事務室長（中
学校内：坂田淳哉）

連絡先

東神楽中学校
83-2413（明石）

東神楽小学校
83-2344（清川）

東聖小学校
83-3055（吉田・土
屋）

忠栄小学校
83-3205（長谷川）

志比内小学校
96-2146（松田）

教育委員会
83-5406（米津）

iPadの整備について（全校）

コロナ蔓延防止にかかわるリモート対応で整備を求められている小中学校のICT機器整備の関係で一人一台のiPadを導入します。

○2022年までに求められていたICT機器の整備水準（文科省）

- 1 学習者用コンピュータ（タブレット含む）**3クラスに1クラス分程度整備**
- 2 指導者用コンピュータ（タブレット含む）**授業を担当する教師1人1台**
- 3 大型提示装置・実物投影機 **100%整備各普通教室1台、特別教室用として6台**
（実物投影機は、整備実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備）
- 4 **超高速インターネット及び無線LAN 100%整備**
- 5 **統合型校務支援システム 100%整備**
- 6 **ICT支援員 4校に1人配置**
- 7 上記のほか、学習用ツール（ワープロ・表計算・プレゼンをはじめとする各教科等の学習活動に共通で必要なソフト）、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備

当初、文科省が求めていた整備基準は上述の通りでしたが、今回GIGA スクール整備事業の前倒しで、町内の小中学生全児童生徒分のiPadを整備することになりました。また、同時に校内LANを従来の

有線のみならず、タブレット端末活用の肝となる高速Wifiの工事も行い、次年度当初から、どんどん活用できるよう準備を進めています。当面は校内での活用となりますが、使い方の習熟や、取り扱い上の指導等を終えた段階で、それぞれ各学校の判断で、ご家庭に持ち帰り家庭学習等に活用することになります。その際は、ご家庭でも、教育委員会や各学校から出されるガイドラインに則った指導をお願いいたします。

整備された iPad について(町内全校)



←今回、GIGA スクール構想で東神楽町内小中学校に導入されるタブレット端末は、iPad です。

導入に当たって基本仕様が決められており、写真のように、キーボードが使えるようになっています。キーボード付ケースなので、丈夫で安心ですが、小学生にはちょっと重いかもしれません。

キータッチは、キーレイアウトは JIS 配列で、純正のキーボードに似てなかなか打ちやすいと思います。ゆくゆくはペンもほしいところです。

→GIGA スクール構想では、保管庫についても仕様が決められており、東神楽町内小中学校では、右の写真のような立てて保管するタイプを採用しています。

保管庫はクラス数分されており、充電することも可能になっています。学校保管時はこのケースで充電されますが、ご家庭に持ち帰ったときは、授業ですぐ使えるように、ご家庭で充電していただくことになります。



← GIGA スクールで中学校は、普通教室にプロジェクター付電子黒板も要望しています。左の写真は、昨年度電子黒板を導入した学校の様子です。

固定式で電源を入れるとすぐに使えるプロジェクター型電子黒板は、タブレットやパソコンから無線で動画を飛ばしたり、デジタル教科書に、電子ペンで書き込みなどができます。iPad が全生徒分配備されるので、生徒がそれで調べて内容を無線で飛ばして、情報共有やプレゼンすることもできます。



この一年は、コロナ対応で異例の年でした。政府の整備方針変更で児童生徒一人一台タブレット導入が数年早まったので、少しでも早く導入し 3 年生にも使わせなかったのですが、授業や部活の合間を縫っての無線 LAN 工事や、全国の小中学校一斉発注で iPad 納品時期が遅くなり、どうしても間に合いませんでした。ごめんなさい。

在校生は、来年度当初から活用していくことになると思います。最初は学校で使い方や約束を学び、その後、家庭でも使うことになると思います。その際は、ご家庭でも学校とともに、ご指導をよろしくお願いします。JS